

カーボンプライシングの基本的な理解と 企業への影響・課題および将来展望

～GX-ETS (排出量取引制度) の第2フェーズに向けて～

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/261006>

1名分料金で
2人目無料

◆日時:【LIVE受講】2026年10月09日(金) 14:00～17:00

【アーカイブ受講】10/13(火)～10/20(火)

◆形式:ZoomによるWEB配信

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から

・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。

・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 京都大学 公共政策大学院 教授 博士 諸富 徹 氏 <ご専門> 経済学、経済政策専攻

【講演の趣旨】

本講演の前半では、GX推進法の成立でその導入が決まり、注目の高まるカーボンプライシング(CP)について、その考え方を基礎から解説するとともに、国内外の事例を紹介、その主要論点や制度設計上の留意点を解説する。CPはこれまで、経済や産業の国際競争力にマイナスの影響を与えられてきた。だが、過去30年間の世界の導入経験から得られるデータからは、必ずしもそうとは言えないことが分かってきた。それはなぜなのか、CPの基礎知識に加えて、CPと企業、産業、経済成長との関係を論じる。

後半ではまず、GX推進法の中身を詳しく説明し、そのなかでCPがどのような役割を果たすのかを解説する。GX推進法では炭素賦課金(2028年～)とGX-ETS(2023年～)の導入が決まった。

このうち、GX-ETSについては3段階を経て発展していくことになり、2026年からは第2段階目(フェーズ2)が始まっているので、本講義の後半は、この点に焦点を当てる。フェーズ1と異なり、制度参加、目標設定、遵守が義務化される。その概要を解説し、本年決定される制度詳細の議論の途中経過、さらにその将来展望を論じることしたい。

【プログラム】

【前半】カーボンプライシング:基礎編

- カーボンプライシングとは何か
 - 炭素税
 - 排出量取引
 - その他
- カーボンプライシングの経済成長、産業への影響
- カーボンプライシングの政策効果
- 政策手段の組み合わせ
- 国内外の事例～欧州排出量取引制度(EU ETS)、温暖化対策税(日本)、イギリス・ドイツの炭素税など
- 質疑応答

【後半】カーボンプライシング:最新動向

- GX推進法とは何か
 - その内容の概説
 - GX推進法の意義、およびカーボンプライシングの位置づけ
- 排出量取引制度としてのGX-ETSの特徴
 - 基本コンセプト
 - EU-ETSとの比較
 - 段階的アプローチと他の政策手段との組み合わせ
- GX-ETS第2フェーズの全体像概説
- 詳説(1):制度対象、算定方法、検証(小委員会第1回)
- 詳説(2):排出枠割当量の計算方法、および勘案事項(小委員会第2・3回)
- 詳説(3):ベンチマーク・グランドファザリングの割当水準の考え方(小委員会第4回)
- 詳説(4):上下限価格の具体的水準
- 詳説(5):その他の論点(リーケージリスク緩和措置、移行計画など)
- 質疑応答

『カーボンプライシング』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒< LIVE アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>